

那須塩原市議会だより

ぎかいのひととき

6月定例会議の内容をわかりやすくお伝えします。

2024.8.20 No.109



那須地方
夏秋どりいちご
生産協議会
×
市議会

MENU	
特集.....	P 2
なしおふれあいトーク報告.....	P 4
体験型！夏休み子ども議会探検.....	P 5
会派代表質問・市政一般質問.....	P 11
Future.....	P 20



イメージキャラクター
なつみんちゃん

特集 那須地方夏秋どりいちご生産協議会 × 市議会



夏に映える甘酸っぱい贅沢



那須地方夏秋どりいちご生産協議会とは

那須地方夏秋どりいちご生産協議会は、県から夏秋どりいちご「なつおとめ」の苗の試験栽培を委託された際に発足し、現在は15軒の農家が加入している。

生産技術、販売促進の講習会を実施する等、なつおとめブランドを守る活動をしている。

(写真は市長への表敬訪問の様子)

<なつおとめの特徴は>

◆酸味が強く、断面が白いものが多い夏秋どりいちごのなかで、なつおとめは甘さと酸味のバランスに優れ、断面が赤いためジェラートやケーキに使用したときに映えるという特徴があります。

また、需要に対して生産量が少なく、希少価値が高いことも特徴です。

◆傷みやすいため特殊な冷蔵技術を使用しない限り、収穫後2日程度で消費する必要があります。

<なつおとめの販路拡大と生産拡大について>

◆東京のケーキ店、白河の菓子店等、生産者が個々に販路を開拓しています。

販路を拡大しすぎて生産が追いつかない現状があります。

<なつおとめ PR のための活動について>

◆西那須野ふれあいまつり等のイベントでPR活動を行いました。

また、県内外のテレビ局やラジオ局に商品を送ることでブランドの周知を図っています。



小さな意見も吸い上げて



◆京都の料亭から引き合いを受けたり、CRT 栃木放送からインタビューを受けたこともあります。今後もPRを続けていきたいと思っています。

<なつおとめの反響は>

◆ケーキ店からは、新鮮で美味しいなつおとめを使ったケーキはよく売れるという声が挙がっています。

◆希少価値があるのでどこに持って行っても重宝され、受け入れられています。

道の駅では、品薄のため数量限定で販売されることもあります。

<活動の成果は>

◆夏場に提供できるいちごもあるという認知度を上げたことが大きな成果です。

◆自治会からの要望で、なつおとめの情報を掲載した地域だよりを全戸配布したこともありました。

<今後の課題は>

◆生産量上げるために新規農家を開拓、育成する必要があります。

◆なつおとめの栽培について、簡単に始められる点からPRしたいと考えています。

<議会・議員に望むことは>

◆いちご栽培は設備投資が必要であるため、資金面でハードルが高く、生産者を増やしていくための支援が必要と感じています。

◆地域に議員がいる場合は、住民の声が吸い上げられやすいと思いますが、そうでない場合もあると感じます。

どんなに小さな意見であっても吸い上げて、活動してもらいたいと思っています。



第22回 議会報告会 「なしおふれあいトーク」を開催しました

5月18日（土）に東那須野公民館で「第22回議会報告会「なしおふれあいトーク」」を開催しました。「地域の困りごとは何ですか？」をテーマに、活発な話し合いを行うことができました。



いただいたご意見

- くらし・環境について**
 - 公共交通網の更なる整備に期待したい。
- 福祉について**
 - 福祉施設に入所できるまで長い時間がかかる。
- 教育について**
 - 部活動の送迎、負担が大きすぎる。
- 自治会について**
 - 高齢化で会長のなり手がいない。
- 子育てについて**
 - 何でも母親のせいにする人が多い。

いただいた意見は一般質問等、今後の議会活動に活かします。

次回はあなたもぜひ参加してください



会場での参加のほか、オンラインによる参加者が3名いらっしゃいました。

体験型！夏休み子ども議会探検

当日の様子を一部レポートします。(2024.7.22)

議員との交流をとおり、議会の役割や仕組みを学び、市議会に興味を持ってもらうことを目的に、市内在住の小学校5年生、6年生を対象に開催しました。

参加者の皆様を法被姿でお出迎え。名刺を交換してご挨拶。今日は一日よろしくお願いいたします！

WELCOME!!

★

正副議長室で、議長、副議長と懇談しました。

A!!

GOOD!!

委員会室や議場では、市議会の仕組みについて説明を行いました。皆さん、大変真剣に聞いてくれました。

その後、復習を兼ねたクイズを行いました。

DOKI DOKI

質問は、議員が会派代表質問や市政一般質問で実際に使用する「議員」質問席から行いました。

昨年議会探検に来て楽しかった！宿題も終わって一石二鳥!?

YEAH

議場で大人に質問することは子どもにとって貴重な体験でした。

保護者の感想

議会だよりは進化を続けています



お気づきですか!? 議会だよりを一部リニューアルしています!!

108号(令和6年5月20日発行号)からの主な変更点として、会派代表質問と市政一般質問のページの構成を縦配置から横配置に変更しています。

Before



After



- ① より見やすくするために、並べ方を変更し、文字サイズを大きくしました。
- ② 市政への思いや質問項目の一覧を新たに掲載しました。
- ③ 答弁内容を重視していただくため、答弁者の記載を削除しました。

陳情の審査結果

No.	受理年月日	件名	陳情者氏名	結果
2	令和6年5月27日	最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める陳情 ①	栃木県労働組合総連合 議長 阿波 長次	不採択
3	令和6年5月27日	現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める陳情 ②	栃木県保険医協会 会長 長尾 月夫	不採択

議案の審査結果

本会議において審議された議案の結果(報告案件は除く)は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
同意第 3号	那須塩原市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
同意第 4号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
同意第 5号	那須塩原市副市長の選任について	同意
同意第 6号	那須塩原市固定資産評価員の選任について	同意
議案第 56号	令和6年度那須塩原市一般会計補正予算(第2号)	可決
議案第 57号	市道路線の認定について ③	可決
議案第 58号	令和6年度那須塩原市一般会計補正予算(第3号) ④	可決
議案第 59号	令和6年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第 60号	令和6年度那須塩原市一般会計補正予算(第4号)	可決
議案第 61号	契約の締結について	可決

審査結果・常任委員会

また、本号から、議案の審査結果のページと委員会での審査内容のページの関連性を分かりやすくするため、レイアウトを工夫しました。

同意第 5号	那須塩原市副市長の選任について
同意第 6号	那須塩原市固定資産評価員の選任について
議案第 56号	令和6年度那須塩原市一般会計補正予算(第2号)
議案第 57号	市道路線の認定について ③
議案第 58号	令和6年度那須塩原市一般会計補正予算(第3号)
議案第 59号	令和6年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
議案第 60号	令和6年度那須塩原市一般会計補正予算(第4号)

市
任
委
員
会

建設経済常任委員会

【審査分野】都
【委員】◎大野
齋藤寿一

県の道路が市に移管され、市が管理する道路が増えます ③
問 通学路の変更や除雪の計画といったものは変更になるのか。
答 変更は特にない。
問 今後市が管理運営するとのことであるが、維持管理費はどのようにするのか。

今後も、市民に愛される議会だよりにするため、工夫をまいります。

問…質問、答…回答、意…意見

※ ◎は委員長、○は副委員長

こんなことを審査・調査しました

総務企画常任委員会

【審査分野】市政全般、自治会、情報システム、防災、税など
 【委員】◎森本彰伸○林美幸、三本木直人、田村正宏、齊藤誠之、佐藤一則、平山武、松田寛人、金子哲也

＜所管事務調査報告＞

年度末の提言に向け、市民の要望や課題について執行部と共通理解を図るため、意見交換を実施しました。意見交換で挙がった質問と回答について抜粋して掲載します。 ※委員会への付託案件はありませんでした

●市民協働推進課

問自治会の加入者のメリットとデメリットをどのように把握しているか。

答主なメリットとして、近隣住民とのつながりを持つことで、災害のときの助け合いにつながっていくと把握している。

主なデメリットとして、自治会費が負担になっている場合がある。

答市でも実施したことはあるが、目標金額未達となっており、ある程度共感を得られるストーリーがあって、目的がはっきりしていないと資金が集まらない仕組みだと考えている。

●企画政策課

問官民連携をもっと進めて、民間の活力を利用できないか。

答ネーミングライツ、トライアル・サウンディング、連携協定等の仕組みを使って活用していきたい。

また、三島体育センターについて、PFIの導入可能性調査を開始している。

問ガバメントクラウドファンディングの活用についてどのように考えるか。

●危機管理課

問消防団のこれからのあるべき姿をどのように考えるか。

答消防団は地域防災力の中核としてなくすことのできない存在であり、社会や時代の変化に対して、消防団の組織も形を変えながら適応していくことが必要と考えている。

問常備消防と消防団の協力関係（役割分担）をどのように捉えているか。

答消防団には地域密着性、要員動員力、即時対応力があり、常備消防は専門性のある知識を有している。連携して現場の活動に当たる協力関係があると捉えている。

福祉教育常任委員会

【審査分野】福祉、子育て、教育、文化、スポーツなど
 【委員】◎益子丈弘○星宏子、堤正明、室井孝幸、相馬剛、眞壁俊郎、山本はるひ、玉野宏

②の陳情について、議員間討議を実施。各委員が様々な角度から議論を行い、採決の結果、不採択となりました。

問現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める陳情は、2024年12月から始まる健康保険証の廃止を中止し、当面の間、現行の健康保険証とマイナ保険証との両立を求めるよう国に意見書を提出することを要請するものだが、委員の意見を伺う。

意健康保険証の廃止は、法律上任意であるマイナンバーカードの、事実上の義務化につながると考える。

意旅先で病院にかかった際に、マイナ保険証では薬や持病を把握できるため、有効な手段になると考える。

意マイナ保険証は保険証としてだけでなく、生活する上で利便性の向上につながると考

える。

意マイナ保険証にすると、医療機関としても事務処理が迅速になると考える。

意マイナンバーカードのトラブルは新聞でも報道されているため、急いで健康保険証を無くす必要はないと思う。

意仕事や職場が変わった場合に保険証の切り替えが簡単になり、高額療養費の支払いも限度額まで支払えば良いため、利便性の向上にもつながると考える。



各議員の議案等に対する賛否の状況 賛否の分かれた案件のみ記載しています。

会派名	サステナブル21					シン・那須塩原					志絆の会					公明クラブ					敬清会					かがやき		農業と環境の会		日本共産党		採決結果
議員名	林美幸	室井孝幸	益子丈弘	山形紀弘	中里康寛	佐藤一則	中村芳隆	森本彰伸	齊藤誠之	相馬剛	松田寛人	齋藤寿一	小島耕一	鈴木伸彦	眞壁俊郎	金子哲也	田村正宏	星野健二	星宏子	平山武	大野恭男	玉野宏	山本はるひ	三本木直人	堤正明	採決結果						
陳情第2号	■最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める陳情 ①																												否決			
陳情第3号	■現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める陳情 ②																												否決			
議案第58号	■令和6年度那須塩原市一般会計補正予算（第3号） ④																												可決			

【○】は賛成 【×】は反対



最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める陳情 ①

反対 ●最低賃金1,500円以上を目指すことには同意できる。しかし、全国一律の最低賃金制度への法改正は、地域毎の生活費や経済的な状況が異なることから一部の地域で過不足が生じる可能性があることや、産業ごとの違いやコストを考慮できない場合があるため反対する。(鈴木 伸彦議員)

賛成 ●地域別の最低賃金法を改正し、全国一律制度を実現することは、パートや派遣、契約など非正規雇用やフリーランスなど弱い立場の労働者の生活を守り、都市部への労働力流出を防ぎ、安心してこの那須塩原市で暮らすことにつながることから、賛成する。(堤 正明議員)

現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める陳情 ②

反対 ●反対討論はありませんでした。

賛成 ●マイナ保険証は、受診時のエラーや個人情報に別人が紐づけされるなど、トラブルも発生している。12月からの健康保険証の廃止を中止し、当面の間、現行の健康保険証とマイナ保険証との両立を求めることは、トラブル回避にも有効であることから賛成する。(堤 正明議員)

令和6年度那須塩原市一般会計補正予算（第3号） ④

反対 ●反対する補正予算は新型コロナウイルス感染症対策のコロナワクチン接種の関連予算。反対する理由は、新型コロナウイルスの弱毒化、治療薬の十分な開発、mRNAワクチンの健康被害の顕在化であり、今後、接種を推定されるレプリコンワクチンの危険性を危惧するため反対である。(小島 耕一議員)

賛成 ●賛成討論はありませんでした。

建設経済常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、水道など
 【委員】◎大野恭男 ○小島耕一、山形紀弘、星野健二、中里康寛、鈴木伸彦、中村芳隆、齋藤寿一

県の道路が市に移管され、市が管理する道路が増えます ③

問 通学路の変更や除雪の計画といったものは変更になるのか。

答 変更は特にはない。

問 今後市が管理運営するとのことであるが、維持管理費はどのようになるのか。

答 県土木事務所と協議の上、修繕が必要な箇所は修繕後に市に移管するため、当面大きな工事費はかからない。



予算常任委員会

【委員】◎森本彰伸 ○益子丈弘 ○大野恭男、その他全議員

新型コロナウイルスワクチンの接種を行います ④

問 今回接種予定の新型コロナウイルスワクチンの種類を伺う。

答 使用するワクチンは、現時点では確定していないが、オミクロン株の変異株 JN.1 (ジェイエヌ・ワン) に対応したものである。

児童手当の支給対象が18歳まで拡大されます ④

問 児童手当費の委託料で、児童手当制度改正に伴うシステム改修 422万7,000円の詳細を伺う。

答 現在の児童手当のシステムは15歳までが対象であり、制度改正に伴い新たに16歳から18歳までが対象となるため改修する。併せて特例給付、所得制限のある世帯の子どもや第3子以降の児童手当が増額になる世帯の子どもも追加できるようにする。

那須塩原市は独自に認可外保育施設保育料を支援しています ④

問 県の事業対象とならない認可外保育施設に通園する第2子のうち、3歳未満児に対する補助金として、市単独で183万6,000円を増額補正するが、補助額の変更はあるのか伺う。

答 認可外保育施設は、保育料の上限が5万1,000円になる。階層の一番上の金額で算出している。

大阪・関西万博に参加します ④

問 東京オリンピック・パラリンピックレガシー事業推進費の万博に関する負担金について、万博首長連合の参加団体数と県内の状況を伺う。

答 万博首長連合に参加している自治体として正会員は86あり、那須塩原市も正会員である。万博首長連合として参加しようとしている自治体が一律240万円を負担金としている。来年の万博に参加しようとしているのは、県内では那須塩原市のみである。



サステイナブル21 中村 芳隆議員



健康長寿センター「長寿の湯」の在り方について

問 長寿の湯の設置目的について

答 長寿の湯については世代間交流が目的であり、当初の設置目的に健康の増進などは入っていない。あくまでも世代間交流を目的として長寿の湯は設けられた。

問 現在に至るまでの収支状況について

答 平成10年から開業して令和4年度決算までの長寿の湯の管理運営に係る収支の累計は、約4億6,000万円の赤字となっている。さらに設備の修繕を合わせると約5億7,000万円の赤字となる。単年度では、直近でいうと令和4年度に管理運営費と修繕費を合わせて約6,200万円支出をしており、それに対して収入は約1,600万円であり、4,600万円の赤字。最近では毎年4,000万円前後ぐらい

長寿の湯の在り方の検討について、真摯に取り組んでいるのか疑義が残る。

の赤字が出ている。

問 これまで行った収支改善対策について

答 使用料については開業以来変えてないが、平成24年度から長寿の湯を含めた長寿センター全体の管理運営については指定管理者制度を導入し、経費の縮減に努めてきた。

問 他の市営温泉施設の在り方との整合性について

答 他の市営温泉施設は、公共サービスの必要性を明確にした上で施設ごとに在り方を検討することとしている。



志絆の会 鈴木 伸彦議員



西那須野地域の今後の計画について

問 合併20年経過の地域人口の推移を伺う。

答 黒磯地区、428人の増、増減率プラス0.7%。西那須野地区、3,852人の増、増減率プラス8.6%。塩原地区、2,216人の減、増減率マイナス25.4%となっている。

問 合併から20年経過している。西那須野地域において新たな施設整備の計画が示される様子はなく、将来計画を急速に検討すべきと考えるが市の考えを伺う。

答 本市では、市政全般にわたる様々な課題を踏まえ総合計画を策定し必要な事業を実施してきており、今後も同様に市政運営に当たっていく考えである。地域別の将来計画を策定する予定はない。

この他、市全体の発展に寄与する計画として、西那須野地域に10の提案を行っています。

那須高林産業団地について

問 市は立地企業8社のうち5社に損害賠償金4億4,030万円を既に支払っている。令和5年12月に成分分析調査の計画を発表し今年4月に発注、期限は来年3月までである。現在6月だが、目視による調査しか終わっていない。こんなペースでいいのか、本当にお金を回収する気持ちがあるか伺う。

答 この事案を風化させる考えは持っていない。現在は成分分析調査を実施し原因究明に努めている。この結果に基づいて原因者を特定できた暁には原因者に対して請求をしていくと考えている。



田村 正宏議員



外国人材の受け入れと多文化共生社会の実現について

問「育成就労制度」への移行を見据え、介護・観光・農業など、今後深刻な人手不足が顕在化する業種に対してのサポート体制を強化する考えはあるか。

答協定を締結している栃木労働局との連携強化に加え、その他関係機関が実施する人手不足解消に向けた事業等を通じて課題に直面する事業者をサポートしたい。

問円安などによって日本の相対的な魅力が低下する中で、地方間の人材獲得競争に勝ち抜くために、多文化共生推進に関する指針や計画の策定や外国人住民の呼称や表記を「外国人市民」とする考えはあるか。

答今後、多文化共生社会の実現に向けた計画の策定と併せ「外国人市民」という表現の使

異なる文化や価値観をもつ人々と共に協力して生きる多文化共生社会の実現が急がれます。

用についても検討したい。

熱中症対策の推進について

問市民の命を守るための取り組みを一層強化する必要があるのではないか。

答改正気候変動適応法に基づくクーリングシェルターの指定や、民間企業との包括連携協定に基づく「涼みどころ」の開設に向けて準備を進めている。

問学校等における子どもの熱中症予防の取り組みについて伺う。

答学校では予防ガイドラインを基に、校内の危機管理マニュアルを策定し適宜見直しを行いながら熱中症予防に取り組んでいる。放課後児童クラブにおいても、昨年度策定したガイドライン・マニュアルの徹底や熱中症指数計の活用により予防に努めている。



山本 はるひ議員



特別支援教育について

問特別支援教育の考え方と特別支援学級の現状を伺う。

答本市ではすべての子どもたちにとって学びが面白い学校を目指し、子どもたちがウェルビーイングを実感できるように取り組んでいる。在籍する子どもたちの可能性を最大限に伸ばすことで、自立を促し、社会活動に主体的に参加できる力を身につけるようにしていくことだと考える。市内の児童生徒数が減少傾向の中で特別支援学級の在籍者数と学級数においては年々増加してきている。今年度全学級の26%が特別支援学級で、学級の定員は障害の種別毎に8人までになっている。子どもの数は全児童生徒数の6.8%で小学校425名、中学校172名、非常に手厚い支援が受けられると思う。

特別支援学級で学ぶ子どもたちも「学びが楽しい学校」であってほしい

問インクルーシブ教育についての考え方は？

答可能な限り障害のない児童生徒と共に十分な教育を受けることのできる仕組みとしてインクルーシブ教育システムを推進してきている。

問特別支援教育充実のための条件整備について伺う。

答課題は、児童生徒の教育的ニーズや特性に応じた指導を行うためには、担任ひとりだけでは不十分であることで、本市では担任以外に非常勤講師2名、市採用教師24名を配置している。また、学校と医療機関を結ぶ発達支援Web相談を開設していて、専門家からの助言がもらえる機会を作っている。



佐藤 一則議員



農業の活性化について

問農家数の直近3年間の推移について伺う。

答農林業センサスで把握しており、平成22年3,111戸、平成27年2,820戸、令和2年2,490戸と減少している。

問農地面積の直近3年間の推移について伺う。

答令和3年度9,530ha、令和4年度9,530ha、令和5年度9,500haと、ほぼ横ばいである。農業の担い手の農地の集積面積は、令和3年度末から令和5年度末までの2年間で569ha集積された。

問主な野生鳥獣の直近3年間の被害額の推移について伺う。

答令和3年度と令和5年度の比較で2,351万円の減となっている。

問被害額が減少した要因について伺う。

答那須塩原市野生鳥獣被害対策協議会が防除

野生鳥獣の移動範囲は広く、8班毎ではなく市内全域での活動が、被害の軽減につながるのではないかと考える。また、他市町との連携も必要と考える。

柵の設置事業を行っており、令和3年度からの3年間の新設補助数が2倍になったためと認識している。

問野生鳥獣の捕獲数の決定方法について伺う。

答那須塩原市鳥獣被害防止計画で定めており、毎年実績等を把握して計画の見直しをしている。

問鳥獣被害対策実施隊の構成と人数について伺う。

答令和6年度は、猟友会143名、環境戦略部の職員6名である。

問実施隊の活動期間と活動範囲について伺う。

答市内全域を対象に通年8班に分かれ活動している。



森本 彰伸議員



視覚障害者への理解促進と支援について

問視覚障害者への行政サービスのニーズ把握をどのように行っているか伺う。

答第4期那須塩原市障害者計画策定の際に実施した当事者や支援団体へのアンケートや、当事者からの要望を直接受け把握している。

問新庁舎での視覚障害者への配慮をした整備をどのように進めるか伺う。

答高齢者、障害者の移動等の円滑化の促進に関する法律や栃木県ひとにやさしいまちづくり条例等に基づき、誰もが安心して利用できる環境を整備する予定である。視覚障害者への対応としては、点字等による案内板や誘導ブロックの設置、音声による誘導案内などを検討している。

問市内の、「のびる会」「くさのみ」「かっこうの会」といった音訳ボランティア団体があ

障害の種類によって必要な支援は違います。適切な支援のため視覚障害者支援計画の策定を。

るが、市としてはどのようなサポートをしているか伺う。

答記録用のメディアの提供のほかに、音訳活動を行う部屋や保管場所の提供を行なっている。今後は会員の確保についての要望があるので、社会福祉協議会と連携しながら可能な限り支援していきたい。

問視覚障害者支援計画を策定する考えについて伺う。

答現在のところ考えていない。第4期那須塩原市障害者計画を中心に、国や関係機関が作成した既存のハンドブック、視覚障害者支援のためのウェブサイトなどを活用して、障害の種別に応じた対応や支援を行なっていく。



小島 耕一議員



市温泉施設を核とした健康づくり、ウェルネスツーリズム、移住定住の推進について

問市温泉施設の現状は。

答令和5年度の年間利用者数及び年間収支について、健康長寿センター長寿の湯は約10万人、約3,023万円の赤字、板室健康のゆぐりグリーンは約6万4千人、4,439万円の赤字、箱の森プレイパーク遊湯センターは約8千人、1,334万円の赤字である。

問長寿の湯を終了すると施設整備に係わる起債及び補助金繰上償還の可能性はあるのか。

答最大で建設時の県補助金約2,600万円、旧合併特例事業債約8,500万円、合計約1億1,000万円の返還の可能性がある。

問国民健康保険、後期高齢者医療特別会計、介護保険の給付費を合わせると178億円になる。温泉施設終了により特別会計が増える可

- 1. 市温泉施設を核とした健康づくり、ウェルネスツーリズム、移住定住の推進について
2. 本年度のまつりの開催計画について

能性があるのではないか。

答温泉施設の医療保険給付費等に対する貢献は検証が困難と判断している。

問後期高齢者の健康診断受診率は29.89%と低い状況であり、温泉施設を活用して受診率を高めてはどうか。例えば、温泉施設の高齢者の入場料を400円に値上げして、健康診断を受診した高齢者には健康パスポートを発行し、200円で入場させてはどうか。

答後期高齢者の健康診断受診率向上は重要なため、今後、研究していく。

問乳幼児の2歳半までに、能動汗腺の発達が決まってしまう。温泉は能動汗腺発達のために良い訓練法と言われている。子育て中の親子に入場料を200円にする子育てパスポートを発行しては。

答能動汗腺の発達は重要。今後検討する。



相馬 剛議員



那須塩原市牛乳等による地域活性化推進条例について

問条例制定から10年目となるが、その取組と成果を伺う。

答条例に基づき、ミルクタウン戦略を策定し消費者や事業者を支援。牛乳の日のイベントを開催。成果は、ミルクタウン戦略会議で検証しており、酪農のまちづくりへの参加機会を提供できた。今後は、消費者、生産者、事業者協働による推進、必要な財源確保、事業推進状況の把握と検証を行い、付加価値を高めることが重要だと考えている。

都市計画税と下水道事業について

問本市の都市計画税は用途地域指定区域を課税区域とし、その多くが下水道事業に充てられているが、用途地域指定区域と下水道整備

- 1. 那須塩原市牛乳等による地域活性化推進条例について
2. 都市計画税と下水道事業について

区域に差異があることから、都市計画税と下水道事業のあり方を伺う。

答下水道事業は都市計画法上の認可を受けた事業で、その企業債の返還に都市計画税を充当している。下水道整備区域は用途地域指定区域より510ha大きい。下水道への接続可能な受益地に受益者負担金を賦課しているが、用途地域指定区域の内外で単価の差はない。受益者負担金は建設改良費の3%程度。都市計画事業が用途地域以外でも進んでいる地域があり地域間の不公平感を生む可能性がある。今後都市計画事業と都市計画税のあり方を検討する。



林 美幸議員



人と動物の共生について

問命をつなぐ取組の推進として、TNR活動（野良猫を捕獲し、不妊手術をして、猫を元の場所に戻すこと）、県動物愛護指導センター譲渡登録団体の周知、庁内関係部署やNPO法人等との連携をどのように考えるのか。

答那須塩原あるいは那須エリアは、ペットツーリズムが盛んな地域であり、家庭動物についても意識を高めていく必要があり動物愛護に関する条例の検討を進めている。

問地域防災計画に、ペットの同行避難者対応は反映されるのか。

答地域防災計画は、今年度改定を予定しているが可能な限り反映させたい。

家庭教育支援について

問家庭教育支援に関する取組の実施として、

アウトリーチ型家庭教育支援事業は、自ら学びや相談の場にアクセスすることが困難な保護者や支援を求めている家庭に対して情報提供や相談対応ができる、教育と福祉の連携として重要となる。

市民への情報提供や相談対応はどのような対応か。

答広報なすしおばらや各公民館広報紙のほか、市ホームページやみるメールなどで広く情報を発信し、相談対応については、家庭教育専門の相談窓口は設置していないが、相談があった際には庁内関係部署と連携をしながら対応したい。

問保護者に寄り添うアウトリーチ型支援についてどのように考えるか。

答先進自治体の取組事例などの情報収集を行っていききたい。



益子 丈弘議員



本市農業の収益性向上の取組について

問農業経営に影響を及ぼす課題を本市はどのように捉えているのか。

答農業についてさまざまな課題があるが、現在一番の問題点はコストに見合うだけの価格形成がなされていないこと。国産農産物への需要は高まっているが消費と生産のミスマッチという状態にあり、これを解消するにはマーケティングやブランディング等の一層の工夫が必要と思う。

問リニューアルオープンした道の駅「明治の森・黒磯」のゴールデンウィーク中の来場者はおよそ3万人とのことだが販売額はどのくらいか。

答ゴールデンウィーク期間の5月6日までの11日間で全体の売り上げでおよそ3,000万円であったと報告を受けている。

農業の収益性向上を図り農業者が逆境に屈することなく事業を継続していくための考えられる選択肢を増やしていく必要がある。

問本市と連携協定を結んでいる株式会社八芳園との取組として那須塩原ブランド等の今後の展開について伺う。

答良好な関係性の中、3年間にわたりポップアップイベントを東京白金台のイベントスペースで行ってきている。本市の知名度アップやファン獲得につながっている。次年度からはイベントスペースが使用形態を変えるため八芳園が連携する施設等での検討をしたい。

問農業者の収益性を高めるため今後、農泊の取組や関係者との連携は考えられないか。

答農泊は農家の収益性の向上につながると考える。今後、関係機関と共通認識を図り近隣を含めた調査研究をしたい。

1. 国立公園を利用した誘客と環境保全について

問木の俣園地の利用者のマナー問題（ゴミ放置）と課題について。

答令和4年度に条例を制定し、ゴミの投棄、火気使用やテント設営などの禁止事項については市のホームページと園地内に看板を設置して注意喚起を行っている。

問地域の民間事業者との連携による日光国立公園の管理と運営について。

答多くの行政機関、民間事業者の方が連携、協同し管理をしている。また、本市の取組に賛同していただいた企業様と連携して、サステナブルTシャツの展示や環境施策のPR、塩原温泉パークコンダクターによる自然散策プログラムなどを行っている。



室井 孝幸議員



国立公園を利用した誘客と環境保全について

問日光国立公園においては、どのような誘客の取組がなされているのか伺う。

答日光国立公園内では、高山植物や湿地植物など草花についてのPRを行っているほか、自然散策プログラムといった自然体験プランを作成するなどの誘客事業を行っている。また、環境省による国立公園の利活用を目的とした日光国立公園満喫プロジェクト事業により、修景伐採事業やナショナルパークとしてのブランド化も行っている。

問木の俣園地の令和6年ゴールデンウィークの利用状況について。

答4月27日の土曜日から5月6日の月曜日までの10日間で、1,228台が木の俣園地の駐車場を利用しており、多くの観光客が訪れている。

1. 長寿の湯の存続について
2. 公民館等の使用料の改定について

会教育施設である。公民館の利用を原則無料から原則有料にすることは、実質、利用に制限を加えることになると考えることからお聞きする。

答使用料改定予定施設は24施設であり、公民館、スポーツ施設や観光施設などが対象である。公民館に限った使用料の増収分は、約270万円を見込んでいます。

問公民館が地域の拠点として、市民の地域自治活動の場として、生涯学習の場として活用されている。公民館の利活用をもっと拡大し、地域が発展をしていくには公民館の無料化は継続するべきであると考えている。市長の考えをお聞きする。

答公民館について今まで何の議論もしなかったツケが今回ってきている。費用応分の負担、利用者負担はやらなければいけない。



堤 正明議員



長寿の湯の存続について

問令和6年2月、長寿の湯における市の管理運営の終了及び利活用の検討方針が示された。長寿の湯は市営として存続すべきと考えるが民間活用等に向けたサウンディング型市場調査についてお聞きする。

答6月にサウンディング調査、7月から9月にかけて庁内検討会議で方針案の策定、10月から11月にかけて議員全員協議会で報告、併せて利用者向け説明会を行う。そして、12月に条例の改正、3月に市の管理運営の終了を予定する。

公民館等の使用料の改定について

問公民館は、学習文化活動、レクリエーション活動などの生涯学習や地域づくりなどの交流・活動拠点として、地域住民が利用する社

1. 不登校児童生徒の健康診断について
2. 終活について

の子どもが、健康診断をきちんと受けられるように体制を整えていきたい。

終活について

問ここ10年間における単身高齢者世帯の推移について。

答平成22年から令和2年までの10年間で2,008世帯ほど増えている。

問社会福祉協議会などと協力して、終活の相談窓口を設置してはどうか。

答関係機関と連携しながら、適宜に話し合い相談に応じる体制を整えていくことが重要であると考えている。今後、相談体制を整備していくことを検討していく。

1. ぼっぼ通りについて
2. 開こん記念祭の廃止について
3. 長寿の湯の市の管理運営終了の検討について

しみであり福祉事業として存続すべきと考えるが市の考えを伺う。

答赤字の解消が見込めないとの結論で、令和6年度末で市による管理運営を廃止することに決めた。

那須塩原市の合併後の施設整備について

問合併以来、青木サッカー場、まちなか交流センター、黒磯図書館、青木道の駅など施設の整備が黒磯ばかり偏り過ぎてないか。一部市民から合併の失敗を嘆く声があり、市の考えを伺う。

答合併後、西那須野地区に318億円の公共事業費を投入している。新幹線による恩恵など合併によるメリットもあると思っている。

3市町合併後の20年間の
体育施設及びその他の施設等の建設費・事業費

施設名	所在地	建設費・事業費(円)
くまの運動場	黒磯地区	563,200,000
青木サッカー場	黒磯地区	1,141,150,000
ホースガーデン	黒磯地区	42,060,000
くまの運動場野球場	黒磯地区	862,880,000
まちなか交流センター	黒磯地区	897,480,000
那須塩原市図書館	黒磯地区	2,496,030,000
アリス交流センター	黒磯地区	49,920,000
道の駅「那須の森・黒磯」	黒磯地区	1,163,610,000
合計		7,167,460,000



星野 健二議員



不登校児童生徒の健康診断について

問小中学校での健康診断の受診率はどのようになっているか。

答7月の段階での受診率は、小学校の場合8項目全て98%以上で、中学校の場合は、歯科検診は94%、内科は95%、聴力は96%、尿検査は97%それ以外の項目については98%以上となっている。

問不登校の児童生徒等も健康診断を受けられる体制を作ることが大切と考えるが所見を伺う。

答心身ともに豊かで幸せである状態が続くウェルビーイングこそが、教育の土台であると考えている。その第一義的に土台になるのは、健康だと思っている。我々大人が、子どもたちの健康を守り抜くという強い意志をもって進めていく必要があり、一人でも多く



金子 哲也議員



ぼっぼ通りを市の一大観光拠点に

問車の通らない安全な散策道は、めったに得られない財産であり、市の一大観光拠点にしていきたいが、トイレ等の整備について伺う。

答トイレについては今年度設計業務委託を予定。案内板については検討中だが、水路に水を流すことなどは現状では難しい。

開こん記念祭の廃止について

問開こん記念祭は西那須野にとってはなくすことのできない歴史的行事である。先人が積み重ねてきた歴史や伝統精神性は壊さないで欲しいが市の考えを伺う。

答開こん記念祭実行委員会において検討した結果、市主催の式典は開催しないことにした。

長寿の湯の市の管理運営終了の検討について

問長年親しまれて来た長寿の湯を市民から奪ってしまうのはとても悲しい。高齢者の楽



星 宏子議員



「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」(COCOLOプラン)の本市の取組について

問 学びの多様化学校に対する所見について。
答 本市も7月に他県への視察を計画しており、情報収集に努めていく。

問 教育支援センターの機能強化について。
答 今年度から市のスクールソーシャルワーカーをハートフルスペースふれあいに常駐させる。

問 保護者への支援として明るい不登校を応援する会が作成した「不登校の段階表」や特定非営利活動法人多様な学びプロジェクトが作成した「学校とのやり取りに関する依頼文」フォーマットの利用について。
答 保護者とのやり取りがスムーズになる形について今後も検討していく。

COCOLOプランを推進することで市の教育施策の充実を図ることが大切だと考え取り上げました。

問 ハートフルスペースでのハートフルしゃべり場の毎月開催について。

答 保護者の要望があれば開催の回数、方法、時間等を検討していく。

地震 10 秒診断で災害への備えを

問 一般社団法人日本損害保険協会と国立研究開発法人防災科学技術研究所がインターネット上で公開している地震 10 秒診断を市のホームページにアップする考えはあるか。

答 市のホームページにリンクしたい。



防災科学技術研究所と日本損害保険協会の共同開発コンテンツ



中里 康寛議員



国外に住所を有する納税義務者の固定資産税について

問 国外に住所を有する納税義務者に対し、どのように課税し納税通知書を送付しているのか。

答 固定資産税は、毎年1月1日現在、登記簿または土地・家屋補充課税台帳に所有者として、登記または登録されている人に課税している。また、納税通知書は、納税義務者から申告等のあった納税管理人宛てに5月1日付で送付をしている。

問 国外に住所を有する納税義務者の固定資産税滞納の状況は。

答 滞納の状況については、国外に住所を有する納税義務者の約15%の方が滞納となっている。

日本の不動産を購入する外国人投資家が増え、固定資産税を納めない事例がある。

問 滞納整理は行えるのか。

答 国外に住所を有する者であっても滞納者に金銭的価値がある財産が判明した場合は、差押えを行い税に充てることができる。

問 納税管理人の役割は。

答 納税義務者から滞納処分以外の納税に関する一切の事項について処理の権限を授与された納税義務者の代理人である。具体的には、納税義務者に代わり、納税通知書の受領、納税、還付が発生した場合の還付の手続や還付金の受領を行う役割を担っている。

問 滞納処分ができる財産とはどのようなものがあるのか。

答 債権であれば給料や預貯金、年金、生命保険などがある。あと不動産であれば土地・建物、自動車、その他出資金も対象になる。



齊藤 誠之議員



持続可能な防犯灯などの在り方について

問 令和7年度からの新たな補助制度について、追加される修繕補助の内容及び補助額、そしてタイムスケジュールについて伺う。

答 防犯灯管理団体が管理するLED防犯灯を対象に考えており、灯具や支柱などの修繕費用を対象にしたいと考えている。また補助額については、現在行っている補助などを参考に、財政部局とも協議をして適切な補助額について引き続き検討を行う。制度が固まり次第、自治会などの防犯灯管理団体へ9月中には文書にて周知をしていきたい。

問 那須塩原市には、地域新電力である那須野ヶ原みらい電力株式会社が稼働し、電力供給も行っているが、この電力を防犯灯に供給し市民の地域安全のために還元することができないか伺う。

- 1. 持続可能な防犯灯などの在り方について
2. カスタマーハラスメントについて

答 防犯灯自体は廉価で規制料金が結構安いので、そこに何か経済性が見いだせるかどうかというのは分からないが、今後利益が出たとき、防犯灯であればそれほど電力を使わず、維持費もかかるわけではないので、一つのコミュニティに還元するという形は有り得ると考える。

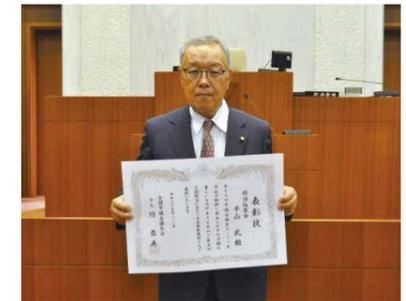


くらしの安全を守る防犯灯は、各自治会等で新規の設置や、維持管理を行っています。

市議会レポート

全国市議会議長会から表彰

市議会議員として10年在職した議員1名と15年在職した議員3名に対し、全国市議会議長会から、市政の振興に貢献したことにより、表彰状が送られました。



市議会議員10年表彰
平山武 議員



市議会議員15年表彰
(左) 鈴木伸彦 議員 (中央) 大野恭男 議員 (右) 松田寛人 議員

Future

～わたしの夢～ No.28

箒根学園 前期課程 6年

かたまた るいな 片股 瑠依愛さん

優しい看護師になりたい

私の将来の夢は、色々な人を支える優しい看護師になることです。

小さい頃、骨折したことがあり、病院に行きました。ある看護師さんに優しく見てもらっていたとき「私もこんな優しい看護師さんになって患者さんを元気にしたい。」と思いました。その体験から、将来のために何かしたいと思い探してみました。今の自分にできることはあまりないので、まずは小さなことから始めました。それはコミュニケーションです。患者さんが不安なときや何かがあって辛いときに寄り添ってあげたいと思ったからです。

私は話すのが苦手なのですが、学校で色々な人と関わっていくうちに仲の良い友達も増えてきて、コミュニケーションを取ることが好きになってきました。これからは、人のために役立つことをして、色々な人を支えることができる優しい看護師になりたいです。



箒根学園前期課程の最高学年となり、様々なことに挑戦する瑠依愛さん。掃除の時間に、下級生の目線に立って、丁寧に教える姿をよく見かけます。優しい言葉がけで、周りにいる子どもたちはみんな笑顔で溢れています。夢に向かって自分らしく頑張る瑠依愛さんを推薦します。

(推薦者 加納 照久)

議会 暦						
日	月	火	水	木	金	土
9/1	2	3	4	5	6	7
					本会議 再開・提案説明	
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 会派代表質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問	
15	16	17	18	19	20	21
		本会議 一般質問・議案質疑	常任委員会	常任委員会	常任委員会	
22	23	24	25	26	27	28
		常任委員会				
29	30	10/1	2	3	4	5
		議員全員協議会 予算常任委員会 決算審査特別委員会	本会議 採決・散会			

※上記の日程は予定です。今後変更になる場合があります。

本会議、常任委員会は、午前10時開会予定です。

会派代表質問は午前9時25分開会予定です。

議会を傍聴してみませんか？

本会議は、当日議場に来て簡単な受付をするだけで傍聴することができます。



①市役所本庁舎へお越しください。



②4階議場までお進みください。



③議場入口にて受付をします。
傍聴時の注意事項、会議資料、アンケートをお受け取りください。



④傍聴席へご着席ください。
車椅子を利用されている場合の傍聴スペースもあります。

※注意※

お持ちの電子機器（携帯電話、腕時計など）から音が鳴らないよう、設定をお願いいたします。

編集後記

広聴広報委員会は、市民の皆さまとの意見交換会や小中高生への主権者教育など、那須塩原市議会のインフォメーションセクションとして、市議会をより身近に感じていただけるようハリキッテいきます。

さて、暑い日が続いていますね。キラキラと照りつける太陽の下でいっぱい汗をかき、美しい夕焼けに寒蝉の鳴き声が聞こえるとても癒されます。とても短い夏、皆さんいかがお過ごしでしょうか。体調管理がくれぐれもご自愛ください。

(中里康寛)